

【南区】令和 8 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 8 年 6 月 11 日（木） 11 時 00 分～11 時 50 分
場 所	南区役所 7 階 701～702 会議室
出席者	【座 長】 仁田昌寿 議員 【議 員：3 名】 高田修平 議員、渋谷健 議員、熊本ちひろ 議員 【南 区：24 名】 高澤和義 区長、鈴木陽子 副区長、 岸本洋子 福祉保健センター長、 幸孝憲 福祉保健センター担当部長、 藤江千瑞 土木事務所長、柴田尚正 南消防署長（災害対策担当部長） ほか関係職員 18 人
議 題	令和 8 年度 南区個性ある区づくり推進費 執行計画等について
発言の旨	議題「令和 8 年度 南区個性ある区づくり推進費 執行計画等について」 《副区長による説明》 【仁田 議員（座長）】 説明が終わりましたので、質疑及び意見交換に入ります。ご発言のある方はいらっしゃいますか。 【高田 議員】 4 ページの主な事業内容にある「身近なまちづくり」の道路修繕費等ですが、中東情勢の影響により、道路の補修の遅れや資材不足など、予算の執行が難しくなるようなことは考えられるのか、現状について教えてください。 【西高 土木事務所副所長】 中東情勢についてのご質問ですが、現在、道路の維持に関してはアスファルト、橋梁の塗装では主にシンナーの値上がりの懸念があります。 これまでのところ、顕著な値上がりというのは業者のほうからは来ていませんが、これから上がっていくのではないかと思います。 道路・交通政策局の資料によりますと、来月ぐらいから大幅に上がって行くのではないかと、また、資材自体も入って来にくくなるのではないかと指摘されています。特に、道路はアスファルトとシンナーが、下水道では塩ビ管、こういった物の資材不足が言われているところです。 現在、予算については限られている中で執行しておりますが、物価上昇にあたっては、事業者とよく調整しながら、設計変更や単品スライドという制度を使って、柔軟に対応していきたいと考えております。

発 言 の
要 旨

【高田 議員】

一刻も早く中東情勢が解決してほしいというのが願いなのですが、影響が出てきているということなので、しっかりと予算のやり取りをしていただいて、市民の道路をきちんと直していただきたいと思っています。

続きまして、19ページの「みなみ減災推進事業」の新規事業「多言語による防災啓発動画の制作」ですが、この動画は、今後、外国人の方の生活ガイダンスというような場で使われるのでしょうか。また、その他にこの動画を普及するために使われる場面があるのか教えてください。

【小田川 総務課長】

動画につきましては、これまで生活ガイダンスへの参加が難しかった方や、区からの情報に直接触れる機会が少ない方々にも、より気軽に防災に関する情報を取得いただけるように作成するものです。

活用の方法ですが、令和7年度は、先生おっしゃった生活ガイダンスに、防災担当の職員が6回ほど出向いて啓発させていただきましたが、この動画ができることで、今後、啓発の回数が増えても、職員が出向かなくてもお伝えできるようになるとか、生活ガイダンスがなくても、外国籍等住民のご利用が多いみなみラウンジなどに、QRコードなどを貼らせてもらい、アクセスして動画を見ていただけるというようなことを考えています。

【高田 議員】

では、例えばSNSのプラットフォームのYouTubeなどで誰もが見られるような形になるということでしょうか。

【小田川 総務課長】

はい、おっしゃるとおりです。

【高田 議員】

ありがとうございます。大変楽しみにしています。

次に22ページの「(4)地域防犯活動支援」についてですが、市会の定例会で、「横浜市防犯のまちづくり推進条例」の制定が議決されたので、今後はこの部分が発展していく必要があるのではないかなと思っています。条例の中にも、市の責務と市民の役割というのが明記されているので、ここを力強く進めていく必要があるのではないかなと思っています。

前回の区づくり推進横浜市会議員会議の中でも「わんわんパトロール」について伺わせていただきましたが、犬の散歩などで外に出る地域の方々が、地域の防犯の役割を担っていただく必要が出てくるのではないかなと思っています。グッズを作成していただいていると思いますが、現在は配るだけといった認識でよろしいのか、また、グッズを配布するのはどういった所を今考えているのか、教えてください。

【栗竹 地域振興課長】

「わんわんパトロール」につきましては、コロナの影響で中断していましたが、今年度に入り、4月の狂犬病の予防接種の会場で、お越しいただいた方に「わんわんパトロール」の登録をしていただく機会づくりを行い

発言の
要 旨

ました。来月の広報よこはま南区版の記事で、「わんわんパトロール」を紹介して、更にこの取組を広げていきたいと考えております。グッズにつきましては、現在は登録に来ていただいた方にバンダナをお渡ししているところですが、他の区では、もっと目立つようなグッズも作っているようなので、それらを参考にしながら、新たなグッズを考えていきたいと思っています。

また、幅広く周知をしていくためには、現在は個々の飼い主さんにグッズをお渡ししているところですが、今後はさらに裾野を広げるために注力して、飼い主さんの間でもつながりを作るようなことを考えて、地域の防犯力を高めるというような方向で検討してまいりたいと思っています。

【高田 議員】

今は狂犬病の接種会場で配るといった個々のアプローチだけだと思いますが、ワンちゃんを飼っている方は、大通り公園や蒔田公園、清水ヶ丘公園といった所で、横の方の顔が見られる関係やコミュニティが結構形成されていますので、今後はグッズを配るだけではなく、防犯という視点で、地域の方々が協力して隣の人同士が分かるという関係やコミュニティを活かしていく必要があるのではないかと思います。条例の中にも、市民の役割の中に、「防犯のまちづくりに関する市及び関係機関の施策の実施に協力するように努めるもの」とありますが、今後何か付加価値を付けて、例えば蒔田公園でドッグランを開催して、グッズをそこで渡したり、隣の人が見られる関係を作るハード面といいますか、場を提供してあげることも考えていく必要があるのではないかなと思っていますので、来年度の予算でご検討いただきますよう、要望させていただきます。

続きまして、25 ページの「区役所等運営事業」です。

毎年のこととは思いますが、年度初めには行政の窓口が大変混むといったことで、私の知り合いも南区に新しく戸籍を移す手続きの際に、昼から終業近くまで4時間程度待ったということです。(6) 窓口サービス向上事業には、「令和9年3月の窓口発券システムの更新に伴い、事前WEB発券機能を追加します」と書かれていますが、窓口の混雑解消に向けた今後の取組について教えてください。

【石合 戸籍課長】

先生おっしゃるように、繁忙期は特に窓口が混雑するという状況が続いております。区役所としましては、こちらに書かせていただいている窓口発券システムを使っていますが、すでに他区で始まっている事前発券機能を使いますと、スマートフォン等で事前WEB発券サイトにアクセスして、来庁前に窓口の受付番号を先に取得できるようになります。番号が近づきましたら、区役所へ来庁していただいて、発券機でチェックインの受付をし、事前に取得した番号の紙のチケットを取っていただきます。窓口の呼出しの順番が近づいてから来庁されるということで、区役所の中で待つ時間を減らすことができるシステムで、LINEですとかメールでの通知も利用できることとなっています。ただ、あくまでも当日の事前WEB発券ということで、前の日とか何日前には取得できません。当日来られる際に、ご自宅などで直接アクセスしていただいて、番号を先に取得していただいて、その番号が近づいたら区役所へ来るという形です。

発 言 の 要 旨	【高田 議員】 例えば、飲食店でも予約のサービスがありますが、予約すると、「あなた何番ですよ、何番待ちですよ」みたいなメッセージが出て、「そろそろ近づいてきましたのでお店に来てください」ということでお店に行ったら、またそこでチケットを取るという認識でよろしいのでしょうか。 【石合 戸籍課長】 先生おっしゃるとおり、スマホ等で番号を事前に取り、その番号が近づいたら、区役所に来て、その番号のチケットを発券機で受け取るというものです。 【高田 議員】 結局、チケットを発券機で受け取ったあとで、区役所の中で待つ時間が発生するようですが、例えば20名ですとか30名ですとか、大体どのぐらい待つのか想像できないのですが。飲食店だったら、事前予約した番号を言ったたら、すぐ入れますよとか、少し待ってくださいねということになるのですが、区役所に行ってチケットを取って、どのくらい区役所内にステイするのか、想像がつかないので教えてください。 【石合 戸籍課長】 番号が近づいてから区役所へお越しいただければ、待ち時間は短いということだと思います。例えば、番号を過ぎた後に到着されたらすぐに呼ばれるというイメージでよろしいかと思います。 【高田 議員】 わかりました。待たないといったことが一番だと思いますので、そのような仕組みを構築して進めていただければと思います。お願いします。 ***** 【熊本 議員】 私も資料のページに沿ってご質問させていただきます。 まず、9ページの「商店街活性化イベント補助事業」についてですが、これまで、どのような商店街が中心となって実施しているイベントに補助金を交付してきたのか、教えていただけるとありがたいです。 【栗竹 地域振興課長】 昨年度の実績で申しますと、弘明寺商店街の6月から7月にかけての七夕のセールであるとか、横浜橋通商店街の夏の大抽選会、それからドンドン商店街の8月の縁日、同じくドンドン商店街の秋のハロウィンまつりに補助しています。 今年度につきましては、まず5月の区商店街連合会の総会で、この制度についてご紹介したところですが、弘明寺商店街につきましては、今年度も既に申請書類が出てきています。引き続き、それぞれの商店街へアプローチをかけて行きたいと思っています。
----------------------	--

発言の
要 旨

【熊本 議員】

補助額というのは、それぞれ違うのでしょうか。

【栗竹 地域振興課長】

補助金の額としましては、単独での補助は25万円を上限としています。また、今回拡充した複数の商店街による取組に対する補助は、30万円を上限としています。

【熊本 議員】

続いて11ページにある「子どもの居場所マップ」については、前回もご意見させていただきました。現在は南区全体の子どもの居場所マップを作成していただいていると思いますが、地域ごとのマップが必要なのではないのでしょうか。例えば、自分の家から近いこども食堂はどこなのか、こどもたちにわかることが必要なのではないかと思いますのですが、そのあたりの取組は進めていただいていますでしょうか。

【横森 こども家庭支援課長】

今回も区全体のマップを作り、こどもたちの手元に届くよう、各小学校に配っていますが、先生がおっしゃったように、エリアごとのマップに関しては、まだそこまでは手をつけられていない状態ですが、周知は、8月1日の「南区キッズデー」でもパネル展示をする予定です。こどもたちが集まる場所で、パネルでの周知や、また「地域子育て支援拠点 はぐはぐの樹」などのいろいろな場を通して周知しているところです。

こどもたちが、どこに居場所があるのかを知る方法は、今のところ紙しかないのですが、今年度は、こどもたちにアンケートを取り、居場所ですんなりものが欲しいかを聞きながら、「場所がわかるものもいい」というお声があれば、それに沿って考えていきたいと思います。

【熊本 議員】

私もこども食堂を視察させていただくと、今は共働きの親御さんが多いので、言い方は悪いのですが、お子さんが放置されてしまっているような状況、例えば、一人で学校から帰ってきて、一人で居場所の施設に行って、帰りも親御さんが例えばライブとか飲み会とかに行っていて、夜に一人で家に帰るみたいな状況もありましたので、こどもたちの感じているそのあたりの部分をしっかりアンケートで取っていただきたいなと思っています。

続いて15ページの「みなみらいふのデジタル版を作成します。」ということですが、詳しく説明していただいてもよろしいでしょうか。

【北條 高齢・障害支援課長】

「みなみらいふ」は、障害福祉サービスの施設紹介のパンフレットとなっております。今は紙の冊子を作成していますが、今回デジタル版を作成するということです。デジタル版の作成にあたりましては、スマホやタブレットでも使いやすいように、検索機能ですとか、地図表示、マップに落とし込むといった方法で、視覚的に分かりやすい機能を追加していきたいと考えています。

発 言 の
要 旨

【熊本 議員】

「みなみらいふ」のパンフレットが、どのようなものか気になったので、後ほど勉強させていただきたいと思います。

続いて22ページの「地域防犯活動支援」です。

自治会町内会の方に地域のパトロールをしていただいていると思うのですが、町内会の負担がどのくらいあるのか気になっています。人が集まらなかったり、高齢化していたりの状況で、結構な頻度でパトロールをしていただいていると思うのですが、当番で回していくのもなかなか大変なところもあるのではと思っていて、その辺を感じている部分があればお聞かせいただければと思います。

【栗竹 地域振興課長】

今回この事業では、パトロール物品をお渡しするということで予算化したものですが、先生からご質問いただいた課題は、それぞれの地区において確かにあるかと思います。今のところ私のほうでは伺ってはいないのですが、「防犯パトロールを回るのがちょっと厳しい」というような個別のご相談や声がありましたら、随時我々の方でも受け止めさせていただいて、どのような対応ができるか、一緒に考えてまいりたいと思っています。

【熊本 議員】

ありがとうございます。ぜひよろしく願いいたします。

先ほど高田議員からもありましたが、「わんわんパトロール」については、私もご意見をいただいておりますので、代弁をさせていただきたいと思います。

その方は、南太田と井土ヶ谷付近で「わんわんパトロール」をされている方ですが、先ほど高田議員も横のつながりがあるとおっしゃっていましたが、結構、親御さんとかワンちゃんと散歩している方とのコミュニケーションが頻繁に行われているということです。この南太田、井土ヶ谷地区では、不審者らしき方がいるという声が多く上がっていて、例えば、児童の後をつけてマンションのエレベーターに乗り込んでしまったりとか、公園以外の人通りの少ない道に不審者らしき人が結構多いと聞いています。先ほどもありましたが、「わんわんパトロール」については、どんどん周知していくといいのではないかと思います。例えば、「わんわんパトロールでどのような活動をされている方がいる」とか、「こういう活動があるんだよ」ということを、例えば学校にも共有して、防犯の授業などに活かしてほしいという意見をいただいておりますので、ぜひこの事業を推進していただけたらと思います。

【栗竹 地域振興課長】

先ほども申しましたが、まず、来月の「広報よこはま南区版」におきまして、わんわんパトロールの記事を掲載する予定です。また、犬を飼っていらっしゃる方は、SNSとかに愛犬をアップしたがる、見せたがることがありますので、そういった場も一つ活用の仕方があるのかなと思っています。確かに犬同士の犬友の飼い主つながりというのは、結構各エリアであらうかと思っていますので、そのつながりがより強くなるようなことを検討してまいります。

発言の
要 旨

【熊本 議員】

ありがとうございます。ぜひよろしく願いいたします。

最後に、29 ページの町内会コーディネーターの件について伺います。先日電話でお聞きしたところ、まだコーディネーターの利用はないと聞いていて、今は地区懇談会等で事業の周知していただいているのかなと思います。ただ、このコーディネーター事業は、基本的には町内会のデジタル化の推進のために活用される感じなのかなと思うのですが、そもそも町内会が高齢化していて、デジタル化することがそもそも負担になっているところもあるのではないかなと思っていて、それだとコーディネーターの活用も進まないと思いますし、デジタル化したことで、町内会の負担が大きくなってしまいうところもあるのではないかなと思っています。そもそも「町内会の加入促進になぜつながらないのか」のような根本的なところをコーディネーターと一緒に解決していく必要があるのではないかなと思うのですが、そのあたりはいかがでしょうか。

【栗竹 地域振興課長】

今年度から始めましたこのコーディネーター派遣は、デジタル化に限らず、最終的な目標としては、自治会町内会に未加入の方が加入していただくといったところがゴールになります。

そのためには、例えば、イベントは開いているけど毎回同じ人たちだけが来るとか、もっと若い人たちに来てもらいたいという仕掛けのイベント企画の検討であるとか、あるいは若い人に刺さるような周知の仕方、ちらしの作成、場合によってはSNSというデジタルの活用も含まれるかと思いますが、そういった包括的な取組をバックアップするというような趣旨で、コーディネーターの派遣、あるいはイベント実施経費の一部補助を行うような事業です。

デジタルの活用も一つのツールとしてはあるのですが、全面的にデジタルを押し出すと、先生のご指摘のとおり、なかなかデジタルについていけないというような層も一定数いらっしゃると思いますので、そういった方が取りこぼされないように行ってまいりたいと思っています。

【熊本 議員】

コーディネーター事業の周知の方法ですが、私が確認しているのは、地区懇談会で区長が言われていると思うのですが、その他にどういった周知をされていますでしょうか。

【栗竹 地域振興課長】

この事業は、対象が自治会町内会になりますので、まずは区連会の場で事業について改めて周知して、具体的な補助あるいはコーディネーターの支援について紹介しながら周知していきたいと思っています。

【熊本 議員】

青年部やこども会など、そういった若い方々にも周知が届くような感じになればいいかと思いますので、私も紹介はしていきたいと思いますが、ぜひ、大元の町内会だけでなく、更にぶら下がっているコミュニティのところまでしっかりと周知されればいいのかなと思います。

発言の
要 旨

【仁田 議員（座長）】

2点だけ、私のほうからお聞きしたいと思います。

9ページ、先ほども話題に出ました「商店街活性化イベント補助事業」ですが、「複数商店街が共同で実施するイベントにも助成」と書かれていますが、どことどこの商店街なのか、こういった趣旨のイベントなのか、今お分かりですか。

【栗竹 地域振興課長】

先ほども申しましたとおり、区商店街連合会の総会の中で、複数の商店街がいらっしゃる中で制度を紹介しました。具体的なイメージについては、個々に調整していくことになると思いますが、例えば、Aという商店街とBという商店街の両方回るスタンプラリーのようなものをイベントとして企画していただくというようなイメージが、分かりやすいかなと思います。そのあたりは、商店街さんのご意向等を踏まえながら、「こういったやり方はどうですか」というようなことで支援してまいりたいと思っています。

【仁田 議員（座長）】

そうしますと、区商連さんがコーディネーターというのか、アンカーマンというのか、まとめ役ということでしょうか。

【栗竹 地域振興課長】

区商連にもそういった場はあると思いますし、また個別の商店街の方にも、アイデアがあれば、我々も交えて、つないでいくようなことをやりたいと思っています。

【仁田 議員（座長）】

分かりました。先ほども熊本議員からありました「自治会町内会加入促進及び町内会の支援」ですが、コーディネーターの派遣は、区長のご挨拶でも今年度からというお話でしたが、そもそも派遣されるコーディネーターの方のバックグラウンドと言うのか、資質と言いますか、どういう趣旨の方が派遣されると理解すればよいですか。

【栗竹 地域振興課長】

まずは、実施するにあたり、自治会のニーズをよく聞き取った上で、例えば、先ほど申しましたが、もしデジタルの分野でもっと周知したいというのであれば、デジタル分野に強い中間支援組織のコーディネーターがいらっしゃいますので、そういった方をご紹介しますとか、あるいは、チラシをもう少し分かりやすいものにしたいというのであれば、デザインの知識がある方であるとか、あるいは、こども向けのいろいろなイベントの企画をしたいのであれば、そういったイベントに強いコーディネーターですとか、それぞれ得意分野のコーディネーターがいらっしゃるとしますので、ニーズを聞き取りながら紹介していきたいと考えています。

発 言 の 要 旨	【仁田 議員（座長）】 わかりました。モデル事業と書いてありますが、これはプッシュ型という意味ですか。そうではなくて、ニーズを汲み取った段階でモデル事業として行うという仕組みでしょうか。 【栗竹 地域振興課長】 イメージとしましては、具体的な派遣の要望が来れば、我々のほうでバックアップをしてまいります。それ以外の場合でも、例えば、日頃自治会とやり取りはしておりますし、あるいは地区担当を経由して、それぞれの地区のほうでも「こんなことをやりたいのだけど」のような声があれば、我々の方でその話を聞き取りまして、より具体的に深掘りしながら、支援してまいりたいと思っています。 【仁田 議員（座長）】 そうしますと、モデル事業を年間何か所のような計画があるというわけではないのですか。 【栗竹 地域振興課長】 そうですね。まだ具体的に何か所というようなところではなく、まずはやってみた上での効果検証を踏まえながら、また次年度以降どうやっていくかというようなことで見直してまいりたいと思っております。 【仁田 議員（座長）】 わかりました。ありがとうございました。 ***** 【仁田 議員（座長）】 他にご発言もないようですので、この程度にとどめたいと思います。以上で、本日の議事は終了いたしました。
----------------------	--